

開館スケジュール

12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

1月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

3月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9:00-21:10

9:00-20:00

9:00-16:45

閉館

12/18(月)~12/27(水)	冬休み特別貸出	12/28(木)~1/4(木)	冬季休暇期間
1/11(木)	冬休み特別貸出 返却日	1/12(金)~1/14(日) 1/12(金)	センター試験休講 短縮閉館
1/21(日)	日曜閉館	1/31(水)~3/31(土)	春季休暇期間
2/28(水)	卒業年次生、単年度生、TAC生の返却期限日 (卒業年次生のみ、卒業式まで延長対応可)		
1/24(水)~3/30(金)	春休み特別貸出	4/13(金)	春休み特別貸出 返却日

サービス内容・窓口時間

サービス内容・窓口時間		月~金 (授業期間)	土曜・祝日授業日・ 授業休止期間
開館時間		9:00~21:10	9:00~20:00
貸出・返却	1・2・3階 カウンター	9:00~21:00	9:00~19:50
レファレンス受付			
予約制閲覧室の 申込受付	2階カウンター	9:00~20:00	9:00~19:00
ノートPCの 貸出・返却			
学習相談	学習サポートデスク (3階カウンター)	授業期間の月~金 (通常) 12:00~15:00 16:00~19:00 ※窓口時間の詳細は、サポートデスクでご確認ください。	

TKU LIBRARY NEWS

Vol.
3

図書館だより

CONTENTS

表紙 館内展示紹介

1-2 相澤伸依 准教授(フランス語・倫理学)
〈寄稿〉「本を『展示』する楽しみ」

3-4 TKU古本募金のご案内

4 学習サポートデスクのご紹介

5 開館スケジュール・窓口時間

~「TKU古本募金」プロジェクトははじめました~
ご協力をお願いします!



【館内展示(1階ブックウォールほか・2017年11月現在)】

B 「映画を読もう」	書架1	E00図書特集「離島に行こう！」
C 「インバウンドビジネスの理論と実践」	ブラッキングスペース	「未知なる創造性」
C 「グローバル研修プログラム」	1Fカウンター前	「秋の夜長はミステリー」
D 「中公新書が好きだ！」	雑誌コーナー	主要雑誌・おすすめ記事紹介
D ノーベル文学賞 カズオ・イシグロ作品展示		
E 図書館インターンシップ企画「出かけよう」		

※アルファベットは1階ブックウォールの場所を表しています

〈寄稿〉本を「展示」する楽しみ

相澤伸依 准教授

(経営学部 フランス語・倫理学担当)

本好きかつ人に押し売りするのも好きな私は、図書館で様々な本の展示を企画してきました。ここで言う「展示」とは、テーマを決めて、そのテーマに沿ったおすすめ本を推薦文とともに図書館書架で紹介することです。数えてみたら、旧図書館時代も含めて8の展示を企画、実施していました。一人で実施することはなく、いつも同僚に声をかけて、20冊ほどの本を集めています。

展示の「表向き」の楽しみは、学生が棚を眺めて本を手にとってくれることです。しかし実は、展示には個人的な楽しみが二つあるのです。

一つ目は、自分を発見できることです。展示をするためには、本の魅力をコンパクトに伝える推薦文を書く必要があります。当然ながら、なぜこの本を紹介したいのか、自分がこの本のどこを素晴らしいと思ったのかをしっかりと考えなければ、よい推薦文は書けません。読書というのは本を通して自分と向き合う営みです。同じ本を読んでも、何を面白いと思うかは人それぞれ。本のどこに魅力を感じるかは、読んだ人の趣味や感受性や個性を露わにします。それゆえ、推薦文で推したいポイントには、私がどんな人間かが意図せずとも現れてしまう。推薦文を書くとき、私は自分がどんな人間かに思い到らざるを得ない。この意味で展示は、自分を見つめ直す、時に発見するよい機会なのです。

さて、二つ目の楽しみは、一つ目の楽しみと直結しています。それは、展示に協力してくれる同僚の人となりを見ることができることです。私が同僚に協力を依頼する時にお願いするのはたった一つ。「(××というテーマで)自分が読んで本当によいと思った本を紹介してください」です。これはもちろんよい本を展示するためのお願いではありますが、根っこを辿れば、本を紹介する同僚がどんな人なのか知りたいという私の好奇心に由来しています。

同僚が紹介する本、そして推薦文には、その人がどんなことに興味を持つ人なのかが現れている。推薦文を読めば「こんなことに興味がある人なのか」とか「ここがこの人のツボなのか」と、書き手の人となりを知ることができるわけです。

こんなことを書くと今度から私に協力してくれる人がいなくなりそうですが、私は展示の推薦文を前にすると、ニヤニヤしてしまう。普段はお仕事モードの同僚が、本気で自分の好きなことを語っているのを読むのは興味深いし、よりその人を知れた気になって悦に入ります。

このように展示には、自分の発見、そして同僚という他者の発見の楽しみがある。しかし、考えてみれば、これは同じ事態の裏表です。つまり展示は、自分にせよ他者にせよ、人間というものを知る楽しみを与えてくれるのです。

図書館では常にいくつかの展示が行われています。展示の棚の前に立って、推薦文をじっくり読んでみてください。そこには、本の魅力だけでなく、推薦文を書いた生身の人間の魅力がにじんでいるはず。推薦文を味わって、ついでに本も借りて、展示の楽しみにあなたも足を踏み入れてみましょう。こうやって様々な形で他者と読書を共有するべく、私は次の展示企画を考えます。



2017年7月～10月実施
「ヨーロッパを知る」

現在ブックウォールドで実施中
「中公新書が好きだ！」



TKU古本募金、はじめました

みなさまの読み終えた本が、奨学金として、東経大生の学業を支えます

TKU古本募金は、卒業生・在学生・保護者・教職員・一般の方々から書籍をお送りいただき、それを売却して得られた金額が東京経済大学奨学基金として役立てられるプロジェクトです。お引越しやご自宅での本棚整理の際などには、ぜひ学内の古本募金回収箱、または提携会社の集荷サービスを通じ、ご不要になった書籍をご提供ください

お申込方法

STEP 1 梱包

ご寄付くださる書籍・DVD・CD等を段ボール箱へ詰め、梱包してください

●WEBサイトよりお申込

「TKU古本募金」のWEBサイトより申込フォームに必要事項をご記入いただき、お申込ください
サイトURL：<http://www.furuhon-bokin.jp/tku/>

TKU古本募金

検索



TKU古本募金
パンフレット

●お電話でのお申込

提携会社バリューブックス 0120-826-292に電話し、「東京経済大学『TKU古本募金』に申込みたい」とお伝えください

※電話受付時間 10:00-21:00 / 日曜は17:00まで / 年中無休
※5冊（5点）以上の場合、宅配業者が集荷に伺います（送料無料）

申込書にご記入のうえ、段ボール箱へ同梱してください
※申込書は、パンフレットまたは、WEBサイトに掲載しています

●古本募金回収箱へ投函

ご寄付くださる書籍・DVD・CD等を学内等に設置してある回収箱（右図）へ投函してください

※回収箱は、図書館、学習センター、大手町サテライトに設置してあります
※回収箱投函の場合は、匿名のご寄付となります



STEP 3 寄付

提携会社バリューブックスにて買い取られます
その売却代金は「学校法人東京経済大学」に寄付されます

みなさまからのご寄付が、
東京経済大学奨学基金として役立てられます

よくあるご質問

Q1: どんな本が寄付されていますか？

ビジネス書、専門書のほか、文庫本や小説も多数いただいております
DVD、CD、ゲームソフトのご寄付も歓迎いたします

Q2: 何冊（何点）でも受け付けてくれますか？ 送料はかかりますか？

数量に制限はありません。本、CD、DVD、ゲームソフトは合計5冊（5点）以上で、送料無料でのお送りいただけます。合計4冊（4点）までは寄付者にご負担いただきます

Q3: 書籍は中がきれいであればいけませんか？

線引きなど書き込みがあった場合も、一定額の減額になりますが対象になります

Q4: 送付した本は返却してもらえますか？

申し訳ありませんが、いただいた本の返却希望には、ご対応できかねます

ISBNコードのついた本をご提供ください

以下のISBNが入った書籍類をお送りください。



お取り扱いできない書籍

ISBNのない書籍、百科事典、雑誌類、コンビニコミック、個人出版の書籍など
※東京経済大学の予算（研究費等）で購入した書籍は取り扱いできません

学習サポートデスクのご案内

レポート作成や文献の探し方などで困ったときは学習サポートデスク（図書館3階カウンター）で大学院生の学習サポーターに相談できます
予約は不要ですので、お気軽にご相談ください

図書館、学習センターで各種講習会も開催しています
あわせてご利用ください

12/4（月）～12/15（金）
期間内平日午後

学習サポーター相談会
@図書館3階カウンター

☆詳しくは図書館HP、
または学内掲示ポスターをご確認ください

